

キーワード③
財政指標

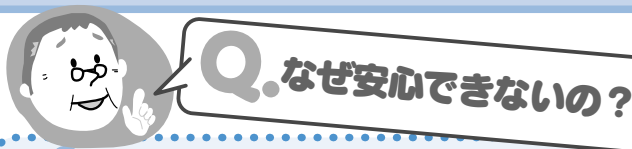
財政指標は比較的良好ですが、安心はできません

自治体の財政の健全性を表す4つの指標上は、いずれも危険な基準を超えておらず、市の財政状況は良好とされています。

〈健全化判断比率〉平成21年度決算

指標	内容	札幌市	危険信号※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	早期健全化基準 11.25%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計のすべての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	11.3%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	137.1%	400%

※この基準を超えると、財政再建のための計画をつくり、立て直しに取り組む必要があります



A. 札幌のお財布には弱点があるからだよ

ほかの政令市と比べて、市税など自力で得る収入が少なく、また、金の使いみちの自由度が低いのです。

財政力指数 0.699
標準的な行政を行うための金を自ら賄える割合

政令市
18都市中
18位
※政令市平均0.875

経常収支比率 99.8%
金が義務的な経費などにどれだけ充てられているかを示す割合

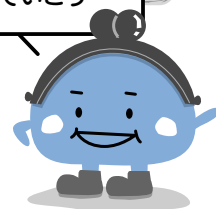
政令市
18都市中
16位
※政令市平均95.5%

(平成21年度決算)

平成21年度決算の状況

昨年度のお金の使われ方を、一般・特別・企業の3つの会計ごとに見ていこう

一般会計では、歳入から歳出を引いた収支は、18億円の黒字となりました。歳入では、地方交付税や財産収入などが予算額を下回ったものの、歳出をできるだけ節約。その結果、市の貯金(財政調整基金)からの取り崩しを、予定の66億円から30億円に抑えることができました。



歳入から歳出を引いた差し引き18億円のうち15億円を22年度に繰り越し、3億円を貯金しました。

市民一人当たりのサービス43万円
※22年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出

歳入総額8,190億円
前年度比545億円(7.1%)増

歳出総額8,172億円
前年度比550億円(7.2%)増

